

表 シカゴ連銀経済報告（2021年4月14日公表）

項目	動向	関係者報告・背景
雇用と賃金	雇用は緩やかに（moderately）増加 賃金は控えめに（modestly）上昇	新型コロナウイルスの罹患や濃厚接触による欠勤は最小限に抑えられている。新規採用が引き続き困難との声が多く、中には、新型コロナウイルスまん延以前よりも雇用が難しくなったとの報告もあった。メーカーでは、新規派遣労働者の離職率が高く、中には仕事に出てこない人もいるとの報告が見られた。また、雇用主、人材派遣会社および労働力開発機関は、健康上の安全性への懸念、育児の問題、公共交通機関のスケジュールの短縮、求職活動の疲労、政府の財政支援など、労働者の採用の妨げとなる要因が多いと指摘した。
物価	全体的に控えめに（modestly）上昇	物価は今後12カ月で緩やかに上昇することが期待されている。小売価格は、新車および中古車価格が大幅に上昇したものの、全体としては控えめに上昇した。生産者価格は、輸送費の上昇やエネルギー価格、原材料価格の大幅な上昇により仕入れ価格が緩やかに上昇したこともあり、控えめに上昇した。特に、金属、金属製品、木材における価格上昇が顕著となった。多くのメーカーは、賃金や原材料価格を小売価格に転嫁しているものの、中には、夏に契約が更新されるまで価格を上げることができないとの声もあった。
個人消費	緩やかに(moderately)増加	新型コロナウイルス関連の規制が緩和されたことや、米国救済計画による景気刺激策により、緩やかに増加したとの報告が見られた。旅行や娯楽関係、特に航空業界や飲食店における需要は顕著に増加した。実店舗での販売は、家具や電気機器などの需要に支えられ、緩やかに上昇しており、電子商取引（EC）での消費も引き続き堅調に推移した。新車・中古車販売は、両市場とも在庫が少ないにもかかわらず堅調に推移し、自動車関連サービスおよび部品の消費は通常の水準に回復した。
企業支出	緩やかに(moderately)増加	小売店の在庫は引き続き過少で、一部分野では下半期まで解消されないと見られている。特に自動車の在庫不足が顕著で、一部ディーラーでは人気車種の小型トラックが在庫切れとなっているほか、メーカーからの納入予定が見通せないとの声も多くあった。製造業の在庫水準は適正レベルをわずかに下回り、原材料（特に、鉄鋼や木材）やマイクロチップなどのサプライチェーンに関する課題が引き続き報告されている。一部企業からは、スエズ運河の閉鎖により船舶の運航が滞り、納入が遅れているとの報告もあった。設備投資は緩やかに増加しており、今後1年間は緩やかに増加すると報告されている。商業用エネルギーの消費はレストランの需要増に支えられ若干増加したものの、産業用エネルギーの消費はほとんど変わらなかった。
建設と不動産	横ばい（flat）	住宅用の不動産建築は、リフォームの増加によりやや増加した。住宅用の不動産業はわずかに増加し、需要も堅調に推移したものの、在庫が逼迫しており、特に購入しやすい価格の物件（スターターホーム）の販売が鈍化した。商業用の不動産建築は、オフィス部門の減少を主な要因として、わずかに減少した。商業用の不動産業については、全体的に需要は高いものの、オフィスやテナント向けの需要は低いままとなった。
製造業	緩やかに（moderately）増加	製造業に関して、いくつかの分野では新型コロナウイルスまん延以前の水準を上回っているとの報告が見られた。自動車の製造は、一部の組立業者やサプライヤーがマイクロチップなどの部品不足に悩まされ、若干減少した。鉄鋼の生産は、建設およびエネルギー部門の需要増により、緩やかに増加した。重機の需要は、農業分野の成長に牽引され、わずかに増加した。特殊金属の販売は控えめに上昇し、材料不足により納品が遅れているとの報告が多く見られた。建材の需要は、新規住宅建設とリフォームの増加に支えられ、控えめに増加した。
金融	全体的にほとんど変化なし	株式および債券市場参加者にとってはボラティリティー（変動性）が依然として高いものの、若干の改善が見られた。ビジネスローンの需要は、製造業やヘルスケア分野の成長に牽引され、わずかに増加した。金融商品の価格設定は引き続き積極的で、貸付水準は若干緩和された。ビジネスローンの質は、接客業での落ち込みがあったものの、全体としてはわずかに改善した。消費者ローンの需要はほとんど変化がなく、住宅ローンについては、借り換えは鈍化したものの堅調に推移した。また、景気刺激策による支払を受けて、消費者ローンの残高が減少した。消費者ローンの質はわずかに向上し、基準は若干緩和された。
農業	農業収入の見通しは改善	主要な農作物の価格上昇や政府の追加的支援によって、2021年の農業所得は向上すると予測されている。トウモロコシと大豆の価格は上昇したが、小麦の価格は伸びなかった。地区の大部分が乾燥していたために作付が早まり、いくつかの作物では既に作付が始まっている。牛、卵、豚、乳製品の価格は2月下旬から3月にかけて上昇した。飼料価格の上昇は畜産業者に打撃を与えたものの、収益の見通しは依然として良好となった。農機具の販売は引き続き好調で、農地価格も再び上昇した。

（出所）シカゴ連銀経済報告を基にジェトロ作成